

令和4(2022)年度第4回 総合地球環境学研究所運営会議議事概要

日時：令和5(2023)年3月23日(木)13:59～16:40

場所：Zoom 開催/総合地球環境学研究所講演室

出席者：(所外委員)【対面】竹中、長尾 【Zoom】浅岡(15:48 退席)、亀山(16:15 退席)、
小林(い)、佐藤、篠田(16:00 退席)の各委員
(所内委員)【対面】荘林、谷口、陀安、松田の各委員
(欠席)小林(傳)委員
(陪席)山極所長、島根管理部長

開会・所長挨拶

陀安議長が開会を宣言し、引き続き所長挨拶があった。

定足数及び配付資料の確認

定足数(全委員数12名→定足数7名、出席委員11名〈地球研参加6名、オンライン参加5名〉)及び配付資料の確認が行われた。

議事概要の確認

令和4年度第3回運営会議(12月26日開催)の議事概要が承認された。

報告事項

(1) 研究教育職員等の人事異動について

小林総務課長から、資料2に基づき、報告があった。

(2) 令和5年度招へい・フェローシップ外国人研究員の受入について

陀安議長から、資料3に基づき、報告があった。

(3) 令和5(2023)年度総合地球環境学研究所運営費交付金等予算額について

島根管理部長から、資料4に基づき、報告があった。

(4) 研究活動等の状況について

荘林委員から、資料5に基づき、報告があった。

(5) その他 特になし

審議事項

(1) 2023年度実践FRへの移行について

谷口委員から、資料6-1～3に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

(2) 研究教育職員(プロジェクトリーダー)の選考について

竹中委員(人事委員長)及び谷口委員(人事委員会所内世話役)から、資料7-1～3に基づき説明があり、投票による採決の結果、承認された。

なお、採用される教員へのインセンティブやプロジェクトリーダーとしての採用条件等について、意見交換があった。

(3) 研究教育職員（教授）の選考について

竹中委員（人事委員長）から、資料 8-1~3 に基づき説明があり、投票による採決の結果、承認された。なお、応募者数、公募の背景、選考の理由等について、意見交換があった。

(4) 客員教員の選考について

山極所長から、資料 9-1~3 に基づき説明があり、挙手による採決の結果、承認された。

(5) 研究教育職員の人事開始について

山極所長から、資料 10 に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

なお、以下の観点等について、意見交換があった。

- ・研究プロジェクトへの関与、自身の研究分野（エネルギー学、社会学、経済学など）
- ・資料 10 に記載の用語の定義（人間文化系、環境学）に社会学などがあると理解しやすい
- ・環境問題の解決に必要なとされる社会や経済的な視点の追加
- ・担当する授業科目等
- ・人文機構（人文学）と総研大（文化科学、物理科学、生命科学等）の研究領域の違い

(6) 総合地球環境学研究所研究教育職員の研究業績等審査に関する規則等の一部改正について

山極所長から資料 11-1~3 について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、審査対象教員の職位、評価と給与の関連性、業績審査項目における学際性の取扱い等について、意見交換があった。

(7) その他 特になし

意見交換

山極所長から、今年度の運営会議や外部評価委員会からいただいた質問等への回答があり、その後以下の観点等について、意見交換があった。

- ・企業や京都市立芸術大学との連携
- ・大学等コアリション、国際シンポジウム
- ・高騰する光熱費への対応
- ・人材育成、教育組織の改革
- ・気候正義等、気候をめぐる社会科学・人文科学研究への取り組み
- ・環境に関連するシンポジウム情報等の HP 掲載（地球研以外）
- ・企業からの総研大への社会人の学生受入れ

また、佐藤委員から、IS・FS 公募における研究提案のトレンドや関心のある分野の傾向、裾野の広がり等について、質問があり、IR 室での分析等含め、改めて回答することとなった。

閉会

陀安議長から、資料 12 に基づき、令和 5 年度のスケジュールについて説明があった。

最後に山極所長から、閉会の挨拶があった。また、陀安議長から、令和 5 年度第 1 回の運営会議(7/4)の後に、懇親会を予定しているとの発言があった。

以上